

好生館だより

好生館

KOSEIKAN DAYORI

[メッセージ] 理事長のあいさつ、館長から一言……………p1	感染制御部だより、医療安全管理部だより、 診療支援部門紹介……………p6
[好生館ニュース] 地域医療連携懇談会報告等 他……………p2	開放型病院登録医のご紹介……………p7
[診療科の紹介] 泌尿器科、耳鼻いんこう科 麻酔科、手術部……………p3	地域医療連携センターだより、 相談支援センターだより……………p8
看護部だより……………p4	新任医師の紹介、 緩和ケア科ボランティア紹介……………p9
栄養の豆知識、 知っていますか？検査の話……………p5	歴史コーナー、リレー・フォー・ライフ…p10
	外来医師一覧表……………p11



好生館ボランティアの皆さん



地方独立行政法人

佐賀県医療センター 好生館

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390
<http://www.koseikan.jp/>



理事長のあいさつ

理事長

中川原 章

顔の見える地域医療連携

平成27年9月10日、好生館の第一回地域医療連携懇談会をホテルニューオータニ佐賀で開催しました。平日の夕刻にもかかわらず、80連携医療施設から166名の方々にご参加いただき、前半の連絡会では、3つの診療センター（救命救急、脳卒中、外傷）の現状とこれから、そして、地域医療連携室及び相談支援センターから現況をご紹介します。好生館からも約100名近い職員が参加し、後半の懇談会では、いわゆる「顔の見える連携」をさせていただきました。日頃お世話になっている先生方や、普段はあまりお会いする機会の無い看護師さん、医療連携室や相談支援室の方々、医療事務、リハビリや食事・栄養関係の方々等とも直接言葉を交わし合うことが出来、大変有意義な懇談会でした。

好生館は、県が運営する唯一の病院として、創始以来181年にわたって県民に医療を提供してきました。しかし、かつて「県立病院が行う県民のための医療とは何か？」という課題を突きつけられたことがあります。当時は、そのような医療などあるはずが無いと思っていましたが、今は違います。間違いなく、公的病院が行う県民のための医療があると思っています。それは、病院に来られる患者さんを治療するだけでなく、地域社会の医療を直接支えておられるかかりつけ医と深く連携し、いろいろな角度から間接的に在宅患者さんのための医療と介護を支援することです。好生館はこれから、地域包括ケア体制を構築する中で、そのような県民に奉仕する独自のシステム作りを進めていきたいと思っています。

館長から一言

館長

樗木 等

平素より好生館がお世話になっています。今回はいくつかのご報告を致します。

地方独立行政法人として中期目標の平成26年度の業務実績として5段階評価の4（順調に進んでいる）の評価を受けました。今後もさらなる上を目指して努力して参ります。

8月27、28日に厚生労働省と九州厚生局による「保険医療機関及び保険医療養担当規則」に基づいた「特定共同指導」を受け、保健医療の原点を確認しました。同規則を遵守する事で、県民に対する良質な保健医療提供につながればと思います。

本年10月1日より「医療事故調査制度」が施行されます。今回は「医療に関連した予期しない死亡例」が対象ではありますが、職員一同、一層の安全な医療提供に継続的に努めて参ります。また、支援団体として佐賀県の「医療事故調査制度」にもお役に立ちたいと思います。

天候不順の折、皆様のご健康を祈念します。好生館を今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



地域医療連携懇談会報告

平成27年9月10日(木)にホテルニューオータニ佐賀にて「第1回 佐賀県医療センター好生館 地域医療連携懇談会」を開催しました。

本会は、地域医療に関わる医療機関の方々と当館スタッフとの懇談の場を設け、これまで以上に顔の見える緊密な連携を図ることを目的にしたものであり、連携医療機関80施設166名のご参加をいただきました。

連絡会では、救命救急センター、脳卒中センター、外傷センター、地域医療連携室、相談支援センターからそれぞれの紹介と活動報告を行いました。

交流会では、地域の医療機関の方々から貴重な

地域医療連携センター長
消化器外科部長
田中 聡也
地域医療連携室
副室長 徳永 尚子



意見をいただき、大変有意義な会となりました。いただいた意見等を生かし、今後一層の緊密な医療連携を図ってまいります。



好生館 News

「第1回 佐賀がんフォーラム」開催



がん統括診療部長
佐藤 清治

平成27年9月19日、成人病予防センターにおきまして佐賀県医師会との共催で「第1回佐賀がんフォーラム」が開催されました。

オール佐賀を合言葉に、がん死亡率高位の佐賀県という汚名を返上すべく、あらゆる固形がんの基礎的研究から治療、予防までを網羅すべく中川原理事長を代表世話人として発足した研究会です。

シルバーウィーク初日にもかかわらず、125名の県内医療者にご参加いただき盛会となりました。

県を挙げてがん克服への研究意欲が高まることを期待したいと思います。

世界禁煙デー、イベント報告

喫煙対策委員会 委員長
呼吸器外科部長 寺崎 泰宏



世界保健機関(WHO)は、平成元年に5月31日を「世界禁煙デー」と決めました。

わが国においては平成4年より、5月31日から6月6日までの1週間が禁煙週間となっています。当館に於いての世界禁煙デーの取り組みとして6月2日(火)から4日(木)の三日間、午後の禁煙外来の時間帯に禁煙サポート窓口を1階待合ホールにて開催致しました。限られた時間でしたが、何名かの方が興味を持たれたようで、そのうちの数名の方は現在禁煙外来を受診されておられます。当館はがん診療連携拠点病院として敷地内禁煙に取り組んでおります。今後も様々なイベントや禁煙サポートを通じ禁煙を目指す方を応援していきたく思います。



ギャラリー紹介

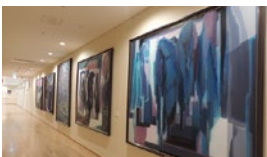
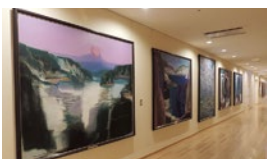


事務部
総務課長 溝上 信彦

洋画家 古賀 猛氏が長年をかけて描かれた絵画7点が平成27年3月好生館に寄贈されました。

古賀氏は、昭和2年に長崎に生まれ、幼少の頃は佐賀市(旧諸富町寺井)で過ごされました。数々の美術展に入選されており、昭和45年頃からの10年間は、古賀氏の郷土である佐賀の有明海からのイメージを受けた心象風景画を描かれておられ、それは佐賀県民に共通する原風景ではないでしょうか。

寄贈された絵画は、好生館1階『ふれあいギャラリー』に5点、3階手術待合室前に2点、展示しておりますので、お時間が許される方は、ごゆっくりと鑑賞されてはどうでしょうか。



「きらら」七夕訪問

好生館に隣接している日新保育園分園『きらら』から好生館の玄関口に飾り付ける七夕飾りの贈呈式が7月1日に



ありました。贈呈式には日新保育園分園『きらら』の3・4・5歳児『にじ組』と長瀬町にある本園の年長児クラス『ひばり組』の園児あわせて32名が参加しました。この行事は、好生館が水ヶ江から移転した平成25年から毎年行われており、3回目となりました。今年は緩和ケア病棟にも小さな七夕飾りが配られました。短冊には園児たちのかわいい願い事や保護者の願い事、保育園の先生たちが心をこめてつくった飾りもたくさん下げてあり、すばらしい七夕飾りとなっていました。今年は、園児たちが作った七夕飾りの隣にもう一本笹を用意し、来館者にも願い事を書いていただく取り組みを行い、笹の枝には多くの方の願い事がいっぱい下がっていました。

泌尿器科

根治を目指した最善の医療と優しい医療が目標

泌尿器科
部長

徳田 倫章



泌尿器科には、泌尿器科専門医4名を含む5名の医師が、診療に携わっております。泌尿器科悪性腫瘍(癌)の増加は著しいものがあります。

国立がん研究センターから2015年の癌罹患数の予測が発表されましたが、男性の第1位は前立腺癌、第7位は腎・尿路癌(膀胱を除く)、第8位が膀胱癌となっています。

前立腺癌は今や国民病といっても過言ではありません。当科で扱う領域は多岐にわたり、尿路癌、尿路結石、前立腺肥大症、膀胱疾患、副腎疾患、後腹膜腫瘍、精巣腫瘍、腎移植など、それぞれに専門性が必要となっています。

佐賀地区の最後の砦として、最新の医療の研鑽を行い、患者さんに根治を目指した最善の医療と優しい医療に努めていきたいと思っております。

耳鼻いんこう科

安心・安全・高度な耳鼻科診療を提供します

耳鼻いんこう科
部長

宮崎 純二



ここ数年、地方の耳鼻科医不足が深刻となっており、当科の医師数も一時2名にまで減少していましたが、平成26年10月より新たに九州大学から2名の医師派遣が実現しました。

現在専門医2名、後期研修医2名の計4名の体制となり、主として手術や入院を要する症例を対象とした佐賀県の急性期医療を担っています。

今回、新たに耳疾患を専攻する医師が加わり、耳科診療も充実しました。例えば、耳硬化症に対するアブミ骨手術など、より高度な中耳手術も可能となり、顔面神経麻痺、突発性難聴の治療にも注力しています。

その他、従来から実績のある鼻副鼻腔内視鏡手術、扁桃手術等を始め、良性疾患を中心として耳鼻科一般幅広く疾患を受け入れ、スタッフ一同、安心・安全で高度な医療を実践するよう努めて参ります。

麻酔科

知られざる佐賀県の麻酔科

麻酔科
部長

島川 勇介



好生館では日夜問わず、必要な患者さんには手術治療が行われます。安心して快適な状態で迅速に治療を提供できるよう、手術室と麻酔科は一心同体で取り組んでいます。

麻酔に関しては一般的に認知度が低く、「麻酔科」という診療科があることを知らない方もたくさんいらっしゃいます。好生館では局所麻酔下での手術を除く全症例を麻酔科が管理しています。

佐賀県には緊急手術も含めて麻酔科が麻酔を行う病院が多いのですが、その事実は当たり前のように全国区では希少な医療体制です。

今後も県民のための好生館で尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。

手術部

手術部は安全第一を心がけています

手術部
部長

北原 賢二



手術部では日々の各診療科の手術が安全で円滑に行えるように、また、24時間365日緊急手術にも対応できるよう万全の体制を整えています。

2014年度の手術件数は総数6,274例で、好生館史上初めて年間手術症例数が6,000例を突破しました。

佐賀県の医療を担う好生館としては、手術数のみならず、その内容においても、術式に特殊性・専門性があり難易度の高い手術の頻度が目立つようになってきています。

一方、この増加する手術をいかにスムーズかつ安全にこなしていくかが重要で、手術部ではスタッフ(各診療科の医師・麻酔科医師・看護師・臨床工学技師他)が一致団結して機能の充実と運営の合理化に心血を注いでいます。



将来の看護を担う子供たちに 看護の体験会を開催しました

高校生の「ふれあい看護体験」

7月30日(木)、佐賀県内の高校生24名が看護体験をしました。

ますます高齢化が進む中、高齢者の気持ちを身をもって感じてほしいと思い、今年度は高齢者の疑似体験を企画しました。

「早く歩こうとしたら転んでしまう」

「こんなに大変だとは思わなかった。手助けしなければと思った」などの感想があり、高齢者に手を差し伸べることの大切さを知る機会になったと思います。



◀看護業務見学体験
(足浴)



高齢者疑似体験▶

中学生の職場訪問

7月31日(金)、成穎中学校3年生4名の職場訪問がありました。これは、「進路」をテーマとした総合的な学習の一貫で、医療の現場で働く職種と仕事の内容について、知りたいという希望を受けたものです。

看護師の仕事についての説明と、小児病棟の訪問・病院見学を行いました。また、薬剤部では、薬剤部長と一緒に粉薬の分包体験をしました。「看護師になりたい気持ちが強くなった」「薬を実際に袋に詰めることができ、とても面白かった」など、笑顔で話してくれました。



◀ドクターヘリの
見学



▲薬剤の分包体験



新しく認定看護師が 誕生しました

手術看護 認定看護師

草場 智恵子

手術看護の対象は、手術を受ける患者さんその家族です。期待と同時に不安を持つ患者さんや家族に寄り添い安心できる看護を提供します。

また、手術や麻酔による合併症を予防し、多職種と連携し周術期の早期回復を目指します。

栄養の  知識

食欲の秋!
きのこの秋!

栄養管理部
管理栄養士 牛島 圭太



秋といえば食欲の秋。旬のおいしい食べ物がたくさんありますが、食べ過ぎは肥満や塩分のとり過ぎにつながるため要注意!そこで注目してもらいたい旬の食材として「きのこ」をご紹介します。

きのこはダイエットの力強い味方です。きのこ自体が低エネルギーですし、食物繊維を豊富に含んでいます。食物繊維が多いと、かさが増えて見た目もお腹も満足しますし、かむ回数が増える

ことでも満腹感が得られ、食べ過ぎを防ぐことができます。

また、干しいたけからはおいしい“だし”をとることもできます。これは昆布のグルタミン酸、鰹節のイノシン酸と並ぶ三大うま味成分の一つ、グアニル酸によるものです。風味のよいだしがあると、調味料は少なくともおいしく料理を仕上げるので、減塩にも役立ちます。

秋の味覚「きのこ」を食べて食欲の秋を健康的に過ごしましょう!



知っていますか?

検査の話

細菌検査のはなし

検査部 細菌検査部門
技師 山口 健太

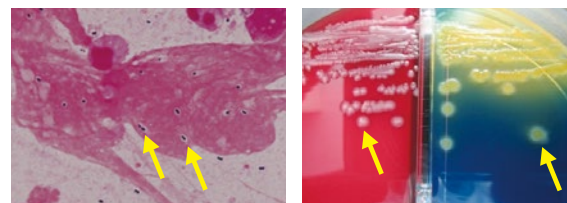


細菌検査室では、患者さんから採取された様々な検体(尿、便、喀痰など)の中に、感染症の原因となる菌がいるかどうか、また、その菌に効く薬は何であるかを調べるための検査を行っています。

大きく分けて塗抹検査、培養同定検査、薬剤感受性検査の3つに分けられます。まず塗抹検査では、材料を染色し顕微鏡で細菌の色や形を観察します。数十分から一時間程度でできる検査です。続いて培養同定検査は検体を培地という細菌にとって必要な栄養を含む寒天に塗って、一定の温度で保温します。すると、菌が増殖してコロニーと呼ばれる目に見えるほどの塊を作ります。このコロニーの性状を調べるこ

とで菌の正体を知る事ができます。通常、培養検査には1~2日の時間を要します。

最後に薬剤感受性検査では検出された菌に対し何の薬(抗菌薬)が効くのかを調べます。通常約1日を要します。細菌検査は少し時間のかかる検査ですが、なるべく迅速に感染症の原因となっている細菌を見つけ出すよう努力しています。



喀痰中の肺炎球菌

大腸菌のコロニー



感染制御部だより

N95マスク

感染制御部
感染管理認定看護師 三好 恵美子



医療現場で使用されるマスクには、「サージカルマスク」と「N95マスク」と大きく2つの種類があります。「サージカルマスク」は、日常的に使用する防護具の一つですが、「N95マスク」は、結核菌の伝播予防など空気感染予防策の時に使用する呼吸器保護具です。

微生物を捕集し、マスクを着けている人が空気感染するリスクを軽減することを目的に着用します。その

ため、「N95マスク」は、マスクと顔の隙間から微生物が侵入しないよう顔に密着する形やサイズを選択することが大切です。最近では、機器等を用いて顔面への密着性を測定することができます(定量的フィットテスト)。

普段使用している「N95マスク」が自分に合っているか、一度確認してみましょう。



+ 医療安全管理部だより

医療安全管理部組織強化

医療安全管理部
GRM 森田 洋子



好生館の医療安全管理体制のさらなる強化を目指すため、今年6月から新たに医師の医療安全管理者(GRM:General Risk Manager)を、7月から専従事務員を配置しました。

医師GRMには、内藤光三医療安全管理部副部長が

就任しました。

医師のGRM配置により、医師からのヒヤリハット報告や合併症報告が適正に提出され、医療の質と安全がさらに向上することが期待されます。

また専従事務員の配置により、医療安全活動に必要なデータの集積や事務処理が、今まで以上により迅速になります。

平成27年10月より施行される医療事故調査制度に対応し、医療事故院内調査委員会を設置し、さらなる好生館の医療安全を推進していきたいと思ひます。

診療支援部門紹介

臨床検査室のISO15189 認定取得を目指して

検査部
臨床検査技師長 阿部 美智



現在、好生館検査部では佐賀県初となるISO15189の取得に向け、検査部一丸となってワーキング・リーダーを中心に準備作業に取り組んでいます。

ISO15189は臨床検査室に特化した国際規格で現在、全国で82の医療機関が取得しています。この認定は医療の国際化が進む中、医療ツーリズムや国際治験など世界で活用できます。

このたび、理事長、館長から認定取得の機会を与您いただきましたので検査部の意識改革の一大起点と捉え、検査部スタッフ一人ひとりが～この時にこそ～好生館の将来構想の一翼を担える検査部の新たな転換期の出発としたいと考えています。



ISOで格闘中!! 笑顔で頑張っています。



患者さんを 笑顔にします

栄養管理部
栄養管理長 小根森 智子



栄養管理部は治療の一環としての栄養管理を担当しています。

管理栄養士は、入院時の面談・食事説明、栄養状態の評価、栄養指導を行い、患者さんお一人お一人にあった食事を提供して喫食率を高め、栄養に起因する疾病の予防に努めています。

食事は、各階サテライトキッチンから食堂対面配膳でお出しします。病床を離れて食堂で日常生活のように食事をすることが、食欲向上・早期離床につながります。有田焼の磁器食器を使用して見た目のおいしさも大事にしています。

今後も栄養管理、食事提供を通して、より治療効果を高め、患者さんのQOL向上の一助となるよう取り組んでいきます。



開放型病院登録医のご紹介

鶴田内科循環器科医院

〒840-2214
佐賀市川副町大字小々森960-7
TEL 0952-45-7567

院長
鶴田 真



平成12年3月久留米大学第3内科(現心臓血管内科)を退局し、同年4月より鶴田医院副院長(院長晋)として勤務の後、平成15年5月に院長として、移転継承開業(無床診療所)しました。祖父、三三三は大正末期に好生館の勤務医でした。

開業当初に、左房粘液腫を手術していただいて以来、循環器内科、心臓血管外科を初め、多くの科に大変お世話になっています。大病院紹介の際には、ほとんどの方が好生館を希望されます。先生方には、私が世話人をしている「川副アーベント」の講師もお引き受けいただき感謝しています。

かかりつけ医として、今後も地域医療に貢献できるように、さらに病診連携を密にしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

医療法人 草場整形外科

〒840-0042
佐賀市赤松町1-9
TEL 0952-22-9383

理事長
草場 謙



佐賀市赤松町、ホテルニューオータニの南側、通称西堀端で整形外科単科の有床診療所を開業しています。

私は平成元年から7年まで好生館整形外科に勤務しましたが、それから早20年経過しました。さすがに20年も経つといういろいろな意味で時代は変化しており、私のところのような小さな診療所でも、時代の大きなうねりのようなものを、患者さんを通して日々の診療の中で感じます。

整形外科診療のトリアージと一次医療初期治療を今後も続けていきたいと考えています。そのためには好生館のような時代を先導していく頼もしい組織が必要です。整形外科はもちろん各科のスタッフのみなさん！これからよろしくお願ひします。

医療法人 アイクレセント
いなだ小児科・アレルギー科

〒845-0021
小城市三日月町長神田2173番地3
TEL 0952-72-7800

理事長
稲田 成安



日頃より、好生館の先生方には大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。私も、1999年より7年間、貴院で小児科医として勤務させて頂いた時期があり、とても愛着のある病院です。

当院は、2008年に小城市三日月町で開院いたしました。開院時よりの理念として、病気の治療だけで終わるのではなく、ご本人やご家族の心配や不安な気持ちが癒されるよう、わかりやすい、ていねいな説明を心がけ、常に優しい雰囲気包まれた小児科診療所でありたいと思っております。

これからも、地域の小児医療の充実のために微力ながら努力していきたいと思っておりますので、ご指導の程、どうぞよろしくお願ひ致します。



医療法人
純伸会 矢ヶ部医院

〒840-0015
佐賀市木原3丁目2-11
TEL 0952-29-6121

理事長・院長
矢ヶ部 伸也



ポルガというパン屋のある佐賀市木原3丁目枝吉東の交差点からすぐ東に矢ヶ部医院があります。好生館の皆様には平素より大変お世話になり、有難うございます。当院はかかりつけ医活動の充実を目標に掲げています。院長は消化器外科出身ですが、内科疾患の維持療法、健診や予防接種など様々な一次医療に対応できるよう準備しています。内視鏡やエコーも備えています。病態により必要な場合すぐに連携病院へご紹介しています。いつも受け入れ有難うございます。在宅医療、在宅ホスピス活動にも力を入れています。在宅ケア・医療の普及を目指す在宅ネット・さかの活動も支援しています。在宅ネット・さかのホームページもぜひご覧ください。



医療法人正和会
志田病院

〒840-0054
佐賀市水ヶ江2丁目7-23
TEL 0952-23-3720

理事長
志田 正典



当院は、昭和22年、現在地に私の父が開設し、本年で68周年を迎えました。

私は、平成2年より常勤しておりますが、大病を患ったこともあり、現在は、療養病床28床とし、院内に有料老人ホーム「愛咲」、兵庫北に「グループホーム夢咲」と関連施設の有料老人ホーム「ケアピレッジ夢咲」を有しています。療養病床ではありますが、看護・リハビリスタッフを揃え、ADL・嚥下機能の改善、口腔・身体ケアなど、機能の維持・回復、肺炎予防に努めています。療養病床は病床超過が出来ず、緊急での入院、受け入れが困難のため、好生館にはご迷惑をおかけしておりますが、責任を持った紹介を心がけて参りますので、今後とも、どうぞ宜しくお願ひいたします。

産婦人科
なかなみクリニック

〒840-0015
佐賀市木原1-24-38
TEL 0952-28-5277

院長
中並 正道



当院は分娩を取り扱わない産婦人科クリニックです。

子宮筋腫や子宮内膜症など婦人科良性腫瘍の患者さんが多数来院されます。確定診断のためにMRIをオーダーすることが多く、放射線科の諸先生方には大変お手を煩わせています。その先は、婦人科の安永先生に腹腔鏡手術をしていただくこととなります。

また、数は少ないですが厄介な合併症を抱えた妊婦さんは、産科の室先生にお世話になっています。

その他、救急で異所性妊娠をお願いしたり、低用量ピルによる静脈血栓症の患者さんを循環器科の先生に助けていただいたり好生館の存在は当院にとって心の拠り所となっております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



地域医療連携センター

地域医療連携室

副室長 徳永 尚子



地域医療連携室では、医療機関からの転院依頼をお受けしております。

診療情報提供書をいただき、当館の医師へ確認し対応いたします。緊急を要する場合は、当館の医師へ電話をお繋ぎしますので担当医にご相談ください。

転院の受け入れが決まりましたら、患者さんを

よりスムーズにお受けするために転院日、時間、搬送方法などの調整と情報収集を医療機関との間で行いますのでよろしくお願いいたします。

県民公開講座を好生館2階多目的ホールにて開催いたします。

H27年11月7日(土) 13:00～16:00

テーマ

「糖尿病／こんなにおいしい!?糖尿病食」です。どうぞご参加ください。

相談支援センターだより

緩和ケア研修会の報告

平成27年度 緩和ケア研修会が、7月4日(土)・7月5日(日)の2日間、好生館にて開催されました。

「PEACE」という緩和ケア研修プログラムをもとに講義や症例検討、ロールプレイ等を行ないます。医師、看護師、MSWと県内様々な医療機関より33名の参加があり、充実した内容での研修会となりました。

◆本年度の「緩和ケア研修会」は、旧カリキュラムにて

①佐賀県医療センター好生館、②唐津赤十字病院で開催されました。

◆新カリキュラムにて

③佐賀大学医学部附属病院 10月24日(土)・10月25日(日)

④嬉野医療センター 平成28年1月23日(土)・1月24日(日)

開催予定です。

一般相談支援室
副室長

田代 加代子



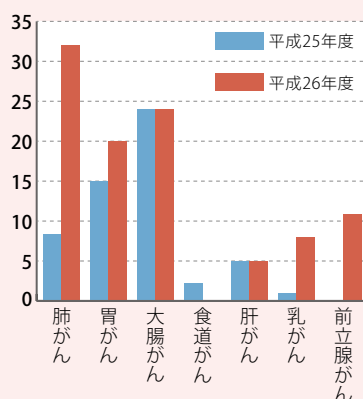
佐賀県がん地域連携パスの運用状況について

がん相談支援センターより、「佐賀県がん地域連携パス」の運用状況についてご報告します。

平成22年度より肺がん、胃がん、大腸がん、食道がん、肝がん、乳がんのがん地域連携パスは運用されていましたが、平成26年度より前立腺がんのパスが追加となりました。地域のかかりつけ医の皆様のご協力のおかげで、パスの運用件数も倍増しております。

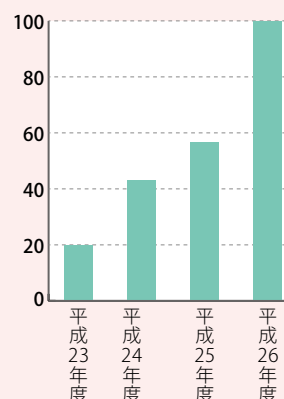
また、連携医療機関数も168の医療機関の参加をいただき、年々増えてきております。がん診療連携拠点病院(計画策定病院)である好生館と地域のかかりつけ医(連携医療機関)である皆様と連携をすることで情報の共有化ができ、より良い医療を患者さん、ご家族へ提供できるよう努めていきたいと思っております。

平成25・26年度
がん地域連携パス使用件数



がん相談支援センター(支援室)
副室長 田代 加代子

好生館における
がん地域連携パス使用数



新任医師
の紹介
8~10月

9月1日付



循環器内科

部長

江島 健一

10月1日付



消化器外科

医師

久保 洋

10月1日付



麻酔科

医師

田口 祥子

10月1日付



皮膚科

医員

朝長 絵理子

緩和ケア科 ボランティア紹介

病院ボランティアとは？



緩和ケア病棟

8階西 看護師長

日浦 あつ子

病院などで、自ら進んで、労力、時間、技術などを通して、より良いサービスが無償提供する人です。

自分のできることを、患者さんやその家族に提供し、自分の喜びや生きがいの一部になると話しておられます。

緩和ケア病棟では、週3日お茶会を開いており、患者・家族の癒しの時間となっています。

ボランティアが地域の風を吹き込み、隣人として手助けをすることは、病院という特殊な空間をたちまち地域の公民館のような開放的で自由な空間に変えてしまう不思議な力を発揮します。

松尾さん(左)と
小林さん(右)です。



好生館にボランティアが誕生して22年という年月が経ち、最初のボランティアの小林さんと、今年100歳を迎えた松尾さんも現役で活躍中です。



ティーサービス準備中のボランティアの皆さん



毎週金曜日のひまわり喫茶、
毎回ゲストの歌や演奏で
楽しんでいます



好生館横複十字マークのはじまり



副館長 林田 潔

当たり前のように親しんできた好生館横複十字のマーク、このマークがいつどのように出来たのでしょうか。

明治34年と思われる新築された好生館本館の前での写真で、看護婦の帽子にこのマークが認められます。驚く事に、赤十字と、横複十字のマークの両方の看護婦と一緒に写っています。

明治10年、佐野常民により博愛社が設立されますが、明治20年に日本赤十字社として、正式に赤十字を標章として定め、万国赤十字社に加盟しました。また博愛社設立に及ぶ際、佐野常民は、2回にわたり、好生館より医療チームを西南の役に派遣させています。また明治30年から37年まで日赤佐賀支部の看護婦教育を好生館が行っていました。

好生館、佐野常民、日本赤十字社の深い関係が推測されます。明治29年、好生館の改称再出発のタイミングに横複十字マークが出来た可能性が高いとは思いますが、証拠となる資料はまだありません。

何かあたらしい史実資料等ご存じの方があれば、是非、情報提供いただけませんか。



新築された好生館本館の前にて(明治34年と思われる)

感謝!!

リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ)2015 佐賀実行委員として



がん相談支援センター
がん相談支援係長 大石 美穂

晴天に恵まれた9月26、27日、山口佐賀県知事、日本対がん協会会長垣添先生、佐賀県医師会池田会長の挨拶で開幕したRFLJ2015佐賀は、2000人程度の来場者を迎え、多数のイベントが開催されました。当館は、多職種44名のチーム参加、職員来場者は70名を超えました。企画した青空がん講座では、垣添先生、当館乳腺外科部長はじめ複数の診療科部長、地域の先生方の講義に計400人程が受講されました。また、当館緩和ケア科の職員がサバイバートークに登壇し、当館独自の企画ではがんセンター長等を中心としたワークショップや相談会を実施しました。

当館で肺がんの手術をされた実行委員長の木原慶吾さん（ミュージシャン）が渾身の力を込めた歌の披露の後、今この場で歌えることは、当館への感謝



でいっぱいだとステージ上から話されたことは、当館職員一同の何よりの励みとなり、結束を更に固める契機となりました。

立場の違った皆さんの個々の力が、やがてひとつの大きな「がんと向き合う地域力」を生み出したこのイベントに、委員会立ち上げの時点から関わらせて頂き、貴重な学びとなりました。ともに泣き笑いしつつ当館の活動をも支えてくださったサバイバー、ご遺族、実行委員会のみなさま方、地域の一員として参加させて頂いたことに心を込めて伝えます。

～ともに歩む仲間へ。ありがとう～

外来医師一覽表

(平成27年 10月 1日現在)

区 分		月	火	水	木	金		
内 科	総合内科	新患 再来	土居隆志/森塚達也 —	土居隆志 森塚達也	森塚達也 土居隆志	土居隆志 森塚達也	森塚達也 土居隆志	
	呼吸器内科	新患	岩永健太郎	小宮奈津子	加藤剛	岩永健太郎	安部友範	
		再来	安部友範	加藤剛	岩永健太郎	加藤剛	岩永健太郎	
	肝胆膵内科		河口康典/中下俊哉	秋山巧	川添聖治/中下俊哉	川添聖治	河口康典/秋山巧	
	消化器内科	新患・再来 ヒロリ外来(完全予約制)	中山敦史	緒方伸一	伊東陽一郎	緒方伸一	山本甲二	
		新患	久富崇	松石英城	近藤誠司	横尾眞子	横尾眞子	
	血液内科	再来	松石英城	権藤久司/久富崇	松石英城	近藤誠司/久富崇	権藤久司	
		腎臓内科	力武修一	中村恵	—	力武修一	中村恵	
	糖尿代謝内科		吉村達(新患のみ)	吉村達	吉村達(新患のみ)	吉村達	—	
	腫瘍内科 (予約・紹介)	新患/コンサル	嬉野紀夫	小楠真典	嬉野紀夫/小楠真典	嬉野紀夫	嬉野紀夫	
		再来	嬉野紀夫	嬉野紀夫/小楠真典	嬉野紀夫	嬉野紀夫	小楠真典	
	感染症(予約・紹介)		福岡麻美	福岡麻美	福岡麻美	福岡麻美	福岡麻美	
	膠原病・リウマチ (14:00~16:00)		(第2・第4 金曜日) (毎週 金曜日)				—	多田芳史
	透 析		中村恵	力武修一	中村恵/力武修一	中村恵	力武修一	
小児科	午 前 (専門外来については小児科外来に お問い合わせください)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
	午 後 (完全予約制)	アレルギー外来 乳児健診 予防接種	神経外来(第2・4) 予防接種	アレルギー外来 循環器外来 予防接種	1ヵ月健診 アレルギー食物負荷試験	アレルギー外来 心身症外来 内分泌外来(第2・4)		
循環器内科	午 前	江島健一 梅本真太郎	吉田敬規 中村郁子	吉田敬規 尾崎功治	古閑靖章 中城総一	林田潔 江島健一/仲野泰啓		
	午 前	不整脈外来 ペースメーカー外来(予約制)	山口尊則	—	—	山口尊則(第3金曜日休診)		
	午 後	検 査	心カテ	心カテ(午前・午後)	心カテ	検 査		
	午 前(完全予約制) 再診 8:30~12:00 初診 月~金 12:00~13:00 午 後	石丸正吾 石井博修	石丸正吾 非常勤医師	石丸正吾 石井博修	石丸正吾 石井博修	石丸正吾 石井博修		
放射線科	放射線診断 ・IVR	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他				相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	相部仁 安座間真也 西原雄之介 川野倫作 他	
	放射線治療	渡辺哲雄	渡辺哲雄 (午後:徳丸直郎)	渡辺哲雄	渡辺哲雄	渡辺哲雄		
脳神経内科	午 前	新患/再来	高島洋	高島洋	森法道	高島洋		
	午 後 (14:00~16:00) パーキンソン病外来(予約制)	検査・処置	回 診	検 査	回 診	検査・処置		
脳血管内科	午 前	上床武史	杉森宏	石東光司	上床武史/石東光司	杉森宏		
緩和ケア科	午前(再診)	完全予約制	—	—	—	—		
	午後(新患)	完全予約制	—	—	—	—		
禁煙外来	午 後	完全予約制	—	岩永健太郎 (14:30~16:30)	林田潔 (13:30~15:30)	寺崎泰宏 (14:30~16:30)		
外 科	消化器外科	新患	田中聡也	隅健次	古賀浩木	池田貯(久保洋)	姉川剛	
		再来	佐藤清治	姉川剛	池田貯	隅健次	田中聡也	
	肝胆膵外科	新患	三好篤	北原賢二	三好篤	古賀浩木 (午前のみ)	北原賢二	
		再来	—	—	—	—	—	
	乳腺外科	—	—	手術	白羽根健吾/藤野稔	手術	白羽根健吾/藤野稔	
	呼吸器外科	新患	手術	寺崎泰宏	手術	岡本祐介	手術	
再来		—	—	岡本祐介/大庭大治	寺崎泰宏/大庭大治	—		
小児外科	新患	村守克己	手術	—	村守克己	手術		
	再来	福田篤久	—	上杉達	福田篤久	手術		
眼 科	午 前	手術	手術	手術	手術	手術		
	午 後	検査	古賀隆史/久保瑞恵 三根正	検査	古賀隆史/久保瑞恵 三根正	古賀隆史/久保瑞恵 三根正/福永由起子		
産婦人科	午 前	婦人科	安永牧生/八並直子	安永牧生/栗原麻希子	—	安永牧生/光貴子		
	午 後 (14:00~16:00)	産科	光貴子	室雅巳	手術日 (急患のみ担当者)	栗原麻希子	手術日 (急患のみ担当者)	
		婦人科(紹介・予約) 産科(紹介)	栗原麻希子 室雅巳	光貴子 室雅巳	—	八並直子 室雅巳		
午後の診療枠は紹介状のある新患あるいは予約のある再来患者のみです。								
耳鼻いんこう科	午 前	手術	宮崎純二 大峯充 大峯充 小池健輔	手術	宮崎純二 大峯充 大峯充 小池健輔	宮崎純二 大峯充 大峯充 小池健輔		
	午 後	—	回診・検査	—	回診・検査	回診・検査		
泌尿器科	午 前	徳田倫章/諸隈太 内野洋志/平田太	徳田倫章/諸隈太 内野洋志/種子島時祥	手術	徳田倫章/諸隈太 内野洋志/平田太	手術		
歯科口腔外科	午 前	完全予約制	野口信宏	野口信宏	野口信宏	野口信宏		
	午 後	完全予約制	佐野直人	佐野直人	佐野直人	佐野直人		
形成外科	午 前	増本和之	—	回診	—	—		
皮膚科	午 前	外来手術	手術	フットケア外来	手術	外来手術		
	午 後	—	—	—	—	—		
整形外科	午 前	整形外科	前隆男/塚本伸章 松下優	手術	前隆男/佛坂俊輔 小宮紀宏	佛坂俊輔		
	脊椎外科	加藤剛・牛島貴宏	—	加藤剛・牛島貴宏	—	手術		
脳神経外科	午 前	松本健一	井上浩平	坂田修治	—	溝上泰一郎		
	午後 専門外来	予約のみ (水頭症外来)坂田修治 (脳腫瘍外来)井上浩平	—	(脳動脈瘤外来)松本健一	手術	(脳血管内治療外来)溝上泰一郎		
心臓血管外科	午 前	手術	内藤光三 里学	手術 (午前中のみ 紹介・予約 樗木等)	内藤光三 里学	手術		
	午 後	—	回診		回診	—		
人間ドック	一 般	林田潔	井之口香映子	権藤久司	権藤久司	井之口香映子		
	脳ドック	高島洋	坂田修治	杉森宏	上床武史	高島洋		
	心臓ドック	—	—	—	樗木等/林田潔	—		
看護専門外来	完全予約制	江口忍	江口忍	江口忍	江口忍	江口忍		